

01

広島弁護士会広報誌
創刊記念号
2018

つるてんびん



広島弁護士会

なやんだら 相談しんさい 頼りんさい



「風をつかめる瞬間がある」

巻頭インタビュー LAWYER MEETS・・・

横山雄二氏 RCC 中国放送アナウンサー

特集 相談窓口のご紹介

ジャフバ、紙屋町法律相談センターに行く！

活動レポート

ジュニアロースクール

ひまわりほっとシンポジウム

「遺言の日」記念シンポジウム

コラム 法律相談コラム

「遺産相続」と「終活」のこと

弁護士による無料電話相談

弁護士が災害に関する悩みごとやご相談をお聞きします。
法律問題かどうかわからないときも、まずはご相談ください。

専用電話 **0120-611-613**

2018年12月28日まで 毎日正午～午後4時

2019年1月7日から同年3月31日まで 平日正午～午後2時

弁護士による面談相談 (各法律相談センター)

広島弁護士会の法律相談センター(紙屋町・福山・呉・ひがし広島・北部巡回)で豪雨災害に関連する弁護士へのご相談を無料にしております。詳しくは広島弁護士会のホームページをご覧ください。ホームページ(ひまわりお悩み110番)からのオンライン予約も可能です。

予約電話 **0570-783-110**
(広島県内から)

中小企業のご相談には、

「ひまわりほっとダイヤル」もご利用いただけます。

☎0570-001-240 (初回面談相談 30分無料)

災害ADR

(話し合いによる解決のお手伝い)

弁護士が仲裁人となって当事者双方のお話やご要望をよく聞き、話し合いでもめごとの解決を目指す制度です。裁判よりも早く、柔軟な解決が可能です。災害に関しては、申立手数料無料、成立手数料も通常の半額です。申立サポート弁護士が付いて支援できます。相手方となる方にも、別のサポート弁護士を付けられます。広島市、福山市、呉市、東広島市、尾道市、三原市、三次市など災害の現場やお住まいに近い場所での開催が可能ですのでご相談ください。

紙屋町法律相談センター

082-225-1600

自然災害債務整理ガイドライン

自然災害債務整理ガイドラインは、災害による債務を整理するための民間の自主的なルールです。住宅ローン等を借りている方が、破産などの法的な倒産手続によらずに話し合いによって、ローンの減額や免除を受けることができます。利用を希望される場合は、主な借入先の金融機関にお問い合わせください。金融機関の同意を受けて、弁護士による手続支援をご依頼ください。弁護士による支援は無料です。

紙屋町法律相談センター

082-225-1600

広島弁護士会からの情報提供

(1) 広島弁護士会ニュース

被災者のみなさまへ、「広島弁護士会ニュース」として、生活・事業・法律問題・復旧・公的支援などに関わる情報提供をしております。

(2) 被災者支援チェックリスト

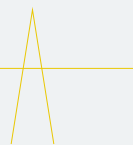
折りたたんでポケットサイズになる「被災者支援情報のチェックリスト集」をPDFファイルで提供しています。被災者が利用できる各種支援制度を幅広く掲載しています。いずれも、広島弁護士会のホームページに掲載しております。複製・配布は自由です。郵送をご希望の方は、広島弁護士会事務局(☎082-228-0230)まで送付先と部数をご連絡ください。

広島弁護士会ホームページ <https://www.hiroben.or.jp/>



01

広島弁護士会広報誌
つるてんびん



Index

- 03 巻頭インタビュー
LAWYER MEETS…
横山雄二氏 (RCC中国放送アナウンサー)

- 07 特集
相談窓口のご紹介
ジャフバ、紙屋町法律相談センターに行く!

- 活動レポート
- 09 **ジュニアロースクール**
- 10 **ひまわりほっとシンポジウム**
- 11 **「遺言の日」記念シンポジウム**

- 12 コラム
法律相談コラム
「遺産相続」と「終活」のこと

- 13 ココが聞きたい!
市民から弁護士へ直撃インタビュー

- 15 ある弁護士の失敗談
- 16 弁護士の1日
- 17 弁護士が観たお薦めベンゴシ映画
- 18 まちかど無料法律相談会
編集後記


ご挨拶



広島弁護士会会長
前川 秀雅

広島弁護士会ではこのたび、初の対外広報誌を発行することになりましたのでご案内いたします。どうか愛顧のほどよろしくお願いいたします。さて、ここ数年来、イチゴとトマトの栽培をしています。完熟したあま〜い実をもぎたてで頂けるというのは、なんと幸せなことでしょう。イチゴは前の冬の株の手入れが大切です。トマトは日照と水やりに気をつけます。今回の私の収穫は、イチゴは、冬の間、多忙で十分に手がかけられなかったこと、トマトは、長雨とその後の極端な暑さで十分な実がつかなかったこと、から不満足なものでしたが、それもまた楽しくもあります。ずいぶん前からきっちり準備をすること、完成直前にこまめに手間をかけること、何事も両方が大切だと思います。つるてんびんの出来はいかがでしょうか。しっかりと味わってみてください。





広島にも放送局にも鮮度が高いまま、
でっかいところだね、
おもしろいところだねって、
いまだに思っています。

巻頭インタビュー LAWYER MEETS…

よこやま ゆうじ
横山 雄二

テレビやラジオにとどまらず、映画の世界でも大活躍中の RCC アナウンサー、横山雄二さん。
今や広島の顔といっても過言ではない横山さんに、アナウンサーをめざしたきっかけから弁護士のイメージまで、
さまざまなお話を伺いました。いつも陽気な横山さんの巻頭インタビューをお楽しみください。

有名になりたかったんですよ。
憧れられる人になりたかった。

弁護士 まずは、アナウンサーになろうと思ったきっかけを教えてください。

横山 有名になりたかったんですよ。憧れられる人になりたかった。
僕は宮崎出身なんですけど、宮崎っていまだに民放のテレビ局が2局しかないんですよ。情報が無い。当時はネットもないので、本屋さんに行くのが楽しみだった。そこで雑誌『ぴあ』に出会い「とんでもない世界がある!」と感じた。映画やスクリーンの世界への唯一の接点みたいな気がしたんです。ああいう本に載る人になりたいと思っていました。だからこうやって弁護士会の会報に載ることはとてもうれしい。

弁護士 本当ですか!?

横山 はい。この世界に30年いるけど、電波に出ることよりも、紙に載ることに強い憧れがあるんですよ。
アナウンサーをめざしたのは、5歳上の姉ちゃんがアナウンサーをしていたから。こんな身近に自分が憧れている世界があるんだなと思ったので、がんばりました。
東京にアナウンサーアカデミーという学校があって、当時30年前ですけど、アナウンサーのほぼ7割はその卒業生でした。そこに行かないとアナウンサーになれないみたいな。

弁護士 そうなんですね。今みたいに関東にあり、大阪にもあるではなく。

横山 アナウンサー学校はありました。でも、簡単に言うと、就職情報がそこに行かないと手に入らないんですよ。あと、地方局の採用試験がそのアナウンス学校で行われる。

弁護士 一極集中で。

横山 そうなんです。だから僕、福岡の大学だったけど、4年生になる時、ゼミの先生に「将来なりたいものがあるけど、ここにいたらなれないので、学校には来ません」と言ったんですよ。そしたら「月に1回はレポートを提出しなさい。一緒にがんばりましょう」と言ってくださって。いい先生でした。

弁護士 アナウンサー学校に行った後、受けた局の中にRCCがあった?

横山 はい、そうです。縁もゆかりもないんですけどね。アナウンサー試験ってネットワークなので、例えばどこかで内定を1社もらって「ここはあまり行きたくなかった」と違うところを受けても、もう絶対に内定は出ないんですよ。連絡がバツと行くから。

弁護士 この人はもう、うちが採用しましたと。

横山 はい。系列は違えども全部つながっているんで、行きたくないところは受けてはいけません。もっと言えば、通ったところに行きなさい。蹴った瞬間に、あなたはもう一生アナウンサーになれませんよと。

弁護士 ということですね。



横山 雄二

(よこやま ゆうじ)

1967年3月29日生まれ。宮崎県宮崎市出身。

1989年(株)中国放送にアナウンサーとして入社。局アナらしからぬ破天荒なトークで人気の広島で最も有名なアナウンサー。映画監督・俳優・歌手活動・作詞・俳句・レーサー・コラムの執筆など、本業以外の分野でも非凡な才能を発揮している。2015年「第52回ギャラクシー賞・DJ/パーソナリティ賞」受賞。2018年10月、処女小説「ふるさは本日も晴天なり」(角川春樹事務所)を出版。

横山 そうなるので、受ける場所はすくチェックしました。

弁護士 その中で広島があったのは？

横山 ある程度大きい都市だったというのはありますね。もしアナウンサーになれたとしても、地方の小さい放送局が僕みたいなのを採ってくれるんだと思っていました。北海道から沖縄までいろんなところを受けて、15社目がRCCだったので。だから、こんな大きい町でアナウンサーになれるとは思っていませんでした。運が良かったです。

弁護士 横山さんがRCCに採用された決め手は？

横山 何だったんですかね。

弁護士 横山さんで自身が考えると。

横山 野球があったのはデカイでしょうね、カーブがあった。僕、高校まで野球部で、あと1回勝ったら甲子園ぐらいの高校だったんですよ。それから、大学は映画研究部で映画を作っていました。番組を作ることは映画研究部の、スポーツ実況でしゃべることは野球部の経験が生かせる。だから、体育会系でもあり、物づくりもできるというポイントはあったと思います。

あとは、面接受けが良かった。これはもう本当に。アナウンサーの最終試験が一番ピリだったみたいです。でも、面接は飛び抜けて良かった。人とどう接するかみたいなことが問われたのかもしれないですね。

うち、実家が不動産屋で、たくさんの大人が来る家だったんですよ。だから、小さい頃から頼まれもしないのに、お茶を持って行って、褒められて。悦に入っている、そんな子どもでした。

弁護士 小さい頃から。

横山 そう、小さい頃から好きでしたね、人と一緒にいるのが。それって、田舎だからというのが大きいと思うんですよ。本当に閉ざされていて、月見ヶ丘書店で買う本だけが世界とつながっているという。小さい店だけど、小説や雑誌がいっぱいあって、世界は広いんだなあと思っていました。あの時の思いがずっとあるから、今もこうやって、広島にも放送局にも鮮度が高いままというか、でっかいところだねとか、おもしろいところだねって、いまだに思っている。生まれ育った場所が大きかったと思いますね。

弁護士 子どもの頃から話をするのが好きだったんですね。

横山 そうですね、お調子者だった(笑)。

女の子けしかけてピンクレディーやキャンディーズを躍らせてたり、運動会は応援団長に、合唱コンクールは指揮者に立候補したり、本当に目立ちたがり屋。出たがりな自分を抑制できない、感情のまま生きているような子でした。

**ラジオは無敵みたいに感じています。
見えないことのおもしろさがいっぱいあることが分かったのです。**

弁護士 仕事をしていて良かったなと思うのは、どんなことですか？

横山 奥が深いんだということがよく分かるようになったことですね。

ミーハーな感じで入社したけど、やればやるほど奥深い。ラジオは、見えない人々を想像しながらしゃべるので、特にそう思います。ちょっと心理学の先生みたいなところがある。毎日、4~500人分のメールを見るので「この人は最近荒れてるな」とか、「こいつ、メールに(笑)とか書いてるけど、本当は笑ってないだろ」とか。そんなことを想像しながら進めていくと、深みがどんどん増えてきた。最近、特にそう思うようになりました。忘れもしないのが、入社1~2年目の頃、ラジオをやっていた大スターの先輩に「毎日同じことやるのって飽きないですか」と聞いたら、「全然飽きない。1回たりとも同じことはないよ」とおっしゃったのをすごく覚えていて。その時は、何かきれいごとと感じたんですよ。こんなところでひたすら毎日しゃべっているだけです。何かすげえ狭い世界で喜んでいるみたいな気がした。でも、今まさに自分がそう思っていて、無限みたいに感じています。もしかすると、相手が見えないというのが一番楽しいのかも。見えるものの喜びもあるんだろうけど、見えないことのおもしろさがいっぱいあることが分かったのです。

**今はゴルフがおもしろい。
人間のメンタルがもろに出るので。**

弁護士 ところで、横山さんはゴルフの番組をされていますよね。かなり上手くなりましたか？

横山 なりました。そりゃなります。というか遅いです、なり方が(笑)。もう、今年で17年目なので、本当はすごく上手くなきゃいけないんですけど。



弁護士 ベストはどれくらい？

横山 76です。だからプロとも戦えたりするぐらいの実力をいい時は持ってます。ただ悪い時は、始めて1年目の子に負けたりする。

弁護士 ギャップがすごいですね。

横山 でもこれ、さっきの話じゃないけど、同じ放送は1回もないのと一緒に、ゴルフも全く同じことって1回もない。例えば、ちょっとだけ、何ミリか地面のこつちが高いとか考えたら。

弁護士 風向きとかのコンディションも。

横山 多分千回が千回、全部違う。何ミリ、もっと言えばマイクロとかマクロの戦いだから。

弁護士 なるほど。

横山 プロは、いろいろなことを想定して、ミスが一番起こりにくい打ち方やボールの置き方をしていくけど、アマチュアはそれを考えずにどんどん進めていく。プロでもミスが出るのに、何も考えない、練習しない人たちがやってもダメだよと言われるんです。だからもっと上手になりたいですね。

弁護士 ベストが76だったら十分だと。

横山 いやー、これが平気で100とか叩くんですよ。

弁護士 そんな時もあるんですか？

横山 はい。この前もOBを1ラウンドで8発打って…もう本当ドライバー捨てて帰ろうと思いましたよ。

弁護士 ちょっと帰りたくなりますね。ゴルフと野球だったらどちらが好きですか？

横山 野球は対戦相手がいて心理戦。ピッチャーに「どうだ、打ちにくいだろ」って嫌がらせを延々されて、いかにイライラしないかがテーマな気がするんです。ゴルフは誰かと競っているけど、誰も邪魔せずに勝手に自分でやっているから。

弁護士 確かに。

横山 それを考えたら、年をとっても続けられるのがゴルフなので。今はゴルフがおもしろい。人間のメンタルがもろに出るので。

得たことというよりも、 失わずに済んだことのほうが大きかった。

弁護士 では、そろそろ本題に。まず弁護士ってどんなイメージですか？

横山 すごく勉強した人、青空を知らない人みたいなイメージがありますね。今はこうやってお会いする機会もあり、個人的に仲良しの弁護士の方とお酒を飲むこともあるので、楽しい人がいっぱいいるというのは分かりますよ。ただ、全然知らなかった時代は、ガリ勉君の集合みたいなイメージがありましたよね。

弁護士 これまで真剣に弁護士が必要になるようなことはありましたか？

横山 ありました。うちの父親が急に死んだんですよ。実家は不動産屋をしていたので、もう何をしたいのかわからなくて。仕方なく広島で弁護士さんを紹介していただいた。それでいわゆる相続みたいなことをお願いしましたね。あまりにも分かってないことが多かった。例えば、個人の財産と会社名義の財産は同じ名義だけど違うものとか、これは触っていいけど、これは触ってはいけないみたいなことを。うちの母ちゃんと姉ちゃんに、弁護士さんの連絡先を教えて、悩んだら連絡をするということが1年ぐらいは続きましたね。そこからです、弁護士というのが意外と身近で、思っていた以上に敷居が低いと感じたのは、頼むのもっと大変なことだと思っていたんですけど、こんなにフラットに話が始まるんだなと。

弁護士 その時は最初から弁護士に相談しようと思いました？

横山 最初は、ラジオやテレビでやっている町の法律屋さんみたいな所に電話をしたんですよ。そうしたら、自分が思っていることと反対の方向に行くんですよ。そしてそれを止められなかった。だから、ちゃんと相談するには、弁護士の人がいいんだろうなと思って紹介してもらいました。

弁護士 弁護士ってすぐに思い浮かばなかったですか？

横山 思わなかったです。値段が分からない、高いだろうと思っていて。だから、大まかなストーリーを言ってくれるといいですよ。例えば、裁判の場合、勝つとこうなりますよ、私がこのくらい取りますよとか。負けても私がこ

のぐらい取りますよというのを。負けた上にお金と言われたら、「ええ、本当はお前じゃなかったら勝ってるんじゃないの」とか思ったりするので。でも、頼むと楽というか、素人考えでは及びもつかなかったことがあった。危機管理として、このミスをしなくて良かったということが大きかったですね。得たことというよりも、失わずに済んだことのほうが大きかったかも。

くだらないことを積み重ねてやっていると、 風をつかめる瞬間がある。

弁護士 やはり、敷居が高いというのはよく言われますね。個人的に話せばそんなことはないと思うんですが。放送局にいらっしゃる立場から見ると、弁護士がもう少し身近になるようにはどうしたらいいと思いますか？

横山 たぶん言い続けることしかないでしょうね。僕ら年間にラジオの生放送を200日、250回ぐらいはやってるはずなんです。なので、何となくみんながそのストーリーを知っていると思ってしまいうけど、みんなどっかのタイミングが抜けている。中には、抜けてばかりで「横山さんって宮崎出身だったんですか」という人もいます。俺もう千回とか、盛って1万回くらい言っているはずなのに、それでも抜けている人がいる。そんな人もたくさんいるので、結局は弁護士とはこういう仕事ですよと言いつけるしかない気がして。



弁護士 言い続けることが大事なんですね。

横山 本人たちが広告塔になって、私たちの仕事はこういう仕事ですと。簡単に言うと、「困っているみなさんを助けるためにいるので利用してください」ということなんだと思うんですよ。少なくとも横山のことはみんな知っているであろうと油断していると、行き届いてない層、例えば若い女の子は僕のことを知らないし、この人の家にはテレビが映ってないんじゃないかと思うくらい何も知らない人が世の中にいたりする。だからそんな人にまでも届けさせようとなると、広島県の弁護士全員が「1日1人20人に広報活動を行う」ぐらいつもりじゃないと。

弁護士 確かに、そうですね。横山さんは、弁護士会のイベントに参加されたことはありますか？

横山 ないですね。こんなお隣なのに。それこそ弁護士会館という場所が入りにくい。ほら、また弁護士に世話になるのって本当に困っている時だと思うので。もっと早い段階で、うちでいいですよということを伝えたいですね。

弁護士 そうです。むしろ争いになる前に来てもらったほうが「これしておけば良かったのに」というのが減っていく。会館では、市民法律講座で相続の説明を行ったりしているんですけど、それも知れ渡ってないですかね。

横山 はい。それこそ最近のことですけど、僕が子どもの頃から大好きな角松敏生さんのコンサートをRCCの主催で行うことになり、それを僕が

「角松敏生さんが来ます。子どもの頃から好きだった僕も行きます」って、相当ラジオの中でしゃべったんですよ。なのに、この期に及んで「横山さんって角松さんが好きだったんですね」という人がいっぱいいる。俺、この2、3カ月の間、1日1回は言ってるよねと思うんだけど、全てには伝わっていない。ということは、こっち側からすると革新的な新しいことを始めたとしても、伝わらない。だから、弁護士会でこんなことをやっていますということが伝わるわけがない。

弁護士 確かに、そうですね。

横山 僕、アナウンサーですけど、『ラジオの恋』という映画で初めて主演をやらせてもらって、それが広島地区で大ヒットしたんですよ。それはもう奇跡のような大ヒットで、全国で上映されることになった。その時に、映画の宣伝マンに「どのぐらいのお金を使ったら、この映画知ってるって日本中の人かと思うだろう」って聞いたら、「10億円かな。でも10億円当たる映画ってないからね」って。お金ってかけたらちゃんと伝わるけど、じゃあその10億円の人がみんな来るわけじゃない。その中の何人かでしょ、見に来るのは。僕らが放送を通じているんなことを言っても全然届かないし、届いた人たちも動かない、動く人は決まっている。そういうことを考えると、弁護士会の人たちが革新的に新しいことを始めて、自分たちが肌で感じる何か、これ、明らかにムーブメントが起きている！って思うようなことやるのは、相当なことがないとダメでしょうね。



弁護士 そうですよね、カープローヤーは普通の広報よりは反響があったなとは思いますが。

横山 カープローヤーのトートバッグ、僕、使っています。作りもちゃんとしているし、布もいいと思いました。

弁護士 ありがとうございます。

横山 いろんな弁護士の方がいらっしゃるの足並みをそろえるのは、まず無理だと思う。でも、便乗できるチャンスがあったら、捨てる物は何もないぐらいの利用の仕方をしないと誰にも届かないと思う。

弁護士 そうですね。使えるものは使って。

横山 何でもかんでも、RCCはテレビもラジオもあるけど、僕は今、ラジオのほうがおもしろいなと思っている。コンプライアンスという魔物と戦う人からすると、ラジオがもう最後の砦みたいな感じなんです。ラジオはちょっとだけまだ噛みつけたり、いろんなことができるので。今、RCCラジオが全国の中でもおもしろいって、マニアの中で注目されていて、評価してくれているんです。そういうことを若いアナウンサーや制作陣が肌で感じているので、みんながちゃんとやってくれますね。例えば、梅雨入りしそうだから、雨の歌ばかりをつないだり、たった3行の原稿を10分かけて読んだりという。簡単に言うと、広島は梅雨入りしましたということなんですけど(笑)。そういうくだらないことを積み重ねてやっていると、風をつかめる瞬間がある。そしてそんな経験をすると、もう一回そ

の風を起こすためにがんばる。最初は僕らが引っ張り上げたけど、後に彼らが僕らを引っ張り上げてくれたりする。まずは、弁護士同士が弁護士会をどう見てもらいたいのかということを考えていく必要があるのかも。

弁護士 なかなか一枚岩になれない。

横山 なれないですよ。ね。「若いやつにやらせてみようや」と言ってくれる人がいないと。反対に「見てみや、金使ったけど何てことはないじゃん」って言われてしまったり。僕らもそういうことでずっと戦ってきた。上と下が交流のなかった時代もあったりして。その時は風を一緒に受けられなかったですね。だけど今は風を一緒に受けたり、ちょっと高く上がることにみんなが興味を持っている。そういうのが全体で何かあるといいですよ。

弁護士 広報ツールとしては、カープローヤーのトートバッグもそのうちの1つで、あとはいくつかラジオに出演させていただくことに。

横山 クリアファイルも使っています。

弁護士 いろいろ作ってはいるんですけど、他に何かがあればおもしろいですかね？

横山 子どもが喜ぶものですね。放送もそうだけど、お子さんが行きたいと言うと、親は行かざるを得ないから。あとは、弁護士さんと話したり、法律クイズ合戦しようみたいなこともいいですよ。小さい頃、弁護士さんにクイズで勝ったことがあるとか、何かがあると、思い出に残る。僕、小さい頃にゴジラ博に行行って着ぐるみのゴジラと一緒に写真撮ったことや、野球教室で堀内選手という当時の巨人のエースから頭をなでてもらったことをいまだに覚えている。そういうふう子どもが喜んでくれると未来はあるし、一人で来られないから親が来るしと思いますね。ところで、なぜ弁護士になったんですか。

弁護士 先程おっしゃったように、高校の頃に裁判所見学ツアーに行って、そこから興味を持ちました。そう思うと大事なかもしれないですね。

横山 なるほど。僕ら今、爆笑問題さんの番組と絡ませていただいている、2年ぐらいですかね。それも東京でアンガールズの山根君が「今、日本中でおもしろいものは何だ」と聞かれた時に、『ごぜん様さま』という番組を言ってくれて、それで太田さんが聴いてはまった。東京で僕らのことを「横山がどうのこうの」ってしゃべってくださって。あの時に今のRCCラジオがちょっとだけ宙に浮いたなというか、ふわっと風が来たという瞬間があったんです。あれ僕らはスタッフ込みで逃さなかったですね。僕らがローカルで何か叫ぶだけで、太田さんが全国に向けて僕らのことを宣伝してくれる。チャンスだと思って。そこからいろんな地方の人気番組とコラボさせてもらうようになり、RCCラジオが全国でひょっとしたら一番勢いがあるローカル局じゃないかと言われるようになった。一回切りの今だという時にスタッフがバツと行ったんですね。あれをゆるっとしたら多分、今はなかったと思う。

弁護士 カープローヤーとかそうですね。また今後もラジオは出演をさせていただくと思いますので、引き続き。

横山 それこそラジオの15分枠買って、弁護士ラジオとかって、ウソでもいいからメールやファクスを、まあ本当に来ると思うんだけど、それを読んで。広島では弁護士がやっている人気番組があるという設定を自分たちで作っていかとか。そういうことを1年間やってみるとおもしろいかもしれない。あとは、ツイッターで140字以内の質問だったらタダで答えますとか。面倒くさいかもしれないけど、みんなの努力だと思うので。昔だったら「生協の白石さん」のネット版みたいな感じで、広島は弁護士は140字以内の悩みだったら何でも答えるよと言って。向こうもアホみたいな無理難題を送ってきて、それに対して答えて「さすがだな、弁護士」とか「何だ、さすがの弁護士でも太刀打ちできねえか」みたいなことを周りに言わせてウワサにすとか。そういうことがもしできたらおもしろいと思いますよね。お金かからないし。

弁護士 そうですね、そういう努力も必要ですよ。いいアイデアと楽しいお話をありがとうございました。



特集：相談窓口のご紹介

ジャフバ、紙屋町法律相談センターに行く！

日弁連の広報キャラクターであるジャフバが広島を訪れてくれました。

こう見えて、実はジャフバも弁護士なんです。

今日は、ジャフバの案内で、広島弁護士会紙屋町法律相談センターをご紹介します。

そごう本館からも行けます！



01

そごう新館

法律相談センターは、広島バスセンターに隣接する「広島そごう新館」にあります。ジャフバも初めての広島そごうにはしゃぎ気味ですね。



02

そごう6階

新館に入ったら6階へ上がってください。6階紳士服売り場の一番奥に紙屋町法律相談センターがあります。



03

連絡通路

法律相談センターへは、そごう本館6階の連絡通路からも行けます。連絡通路を通してそごう新館に入るとすぐ右手にあります。

完全個室で
なんでも
安心相談

07



相談室入口

さて、いよいよ相談です。相談室は、完全な個室になっており、他人に話を聞かれることもないので安心です。



相談中

今日は、ジャフバに相談を担当してもらいました。ジャフバは、じっくり相談者の話を聞き、とても分かりやすく説明していました。



相談終了

どんな相談だったのか気になりますね。でもジャフバは守秘義務を負っていますから、決して相談内容は教えてくれません。

徹底した
守秘義務で
安心！

08

09

気軽に相談へ
来てね！



法律相談時間は少し長めの40分となっています。
相談料は、有料相談の場合、40分6480円(税込)です。
※豪雨災害に関連して相談料が無料になる場合もあります。
交通事故、債務整理に関する相談は無料です。
その他にも、収入が一定以下の方の場合、法テラスという国の機関を利用することによって無料で相談を受けることができます。
詳しくは、紙屋町法律相談センターに電話をして聞いてみてください。
皆さんも悩み事があったら、お気軽に法律相談センターを利用してください。
もしかしたらジャフバに会えるかもしれません。

04



センター入口

ここが紙屋町法律相談センター入口です。少し奥まって分かりにくいかもしれません。

いざ
事務所の
中へ！

05



センター入口

さて、いよいよ法律相談センターへ入ります。ちょっと緊張しますが、勇気を出して自動ドアを開けてください。ジャブもギリギリ通れました。

事前予約を
忘れずに

06



受付

法律相談センターに入ると受付があります。事前予約制なので、電話かインターネットで予約してください。ここで相談内容などを書いていただいたり、相談料金をお支払いいただいたりします。

ひとりで悩まず、まずはお電話ください。



法律に関するご相談はお気軽にお近くの相談センターへ

紙屋町法律相談センター

予約電話	082-225-1600
予約受付時間	9時30分～16時
相談時間	毎日10時10分～16時25分 ※夜間相談 毎週水曜日 17時30分～19時30分
場所	広島市のそごうデパート新館6階 (広島市中区基町6番27号)
相談料	40分 6,480円(消費税込)

ひがし広島法律相談センター

予約電話	082-421-0021(受付専用)
予約受付時間	9時30分～16時
相談時間	毎週水曜日 13時～16時(水曜日が休館日の場合は翌日)
場所	東広島市民文化センター研修室3 (東広島市西条西本町28-6サンスクエア東広島2階)
相談料	30分 5,400円(消費税込)

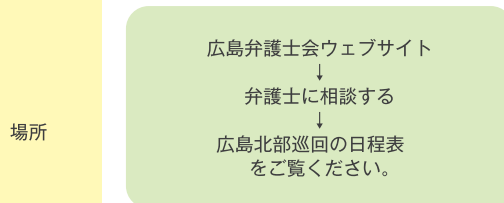
法律相談センター福山

予約電話	084-973-5900(受付専用)
予約受付時間	9時30分～15時(土曜・日曜・祝日を除く)
相談時間	交通事故相談 毎週水・金曜日(祝日除く)10時～16時 交通事故以外の相談 毎週月～金曜日(祝日除く)13時～15時
場所	広島弁護士会福山地区会館 (福山市三吉町1丁目6番1号)
相談料	30分 5,400円(消費税込)

北部巡回法律相談センター

予約電話	0120-969-214(受付専用)
予約受付時間	9時30分～16時
相談時間	毎週金曜日 13時～16時

広島弁護士会のHPよりご確認ください。



なお、相談場所・担当弁護士は変更する可能性がありますので、詳しくは予約電話の際にご案内致します。

相談料	無料
-----	----

呉法律相談センター

予約電話	0120-969-214(受付専用)
予約受付時間	9時30分～16時
相談時間	毎週土曜日 10時～12時
場所	呉市中央2丁目1-29
相談料	30分 5,400円(消費税込)